

先端融合テクノロジー連携教育プログラム

- 1 ・ プログラム概要
- 2 ・ 連携高専、カリキュラムポリシー
- 3 ・ カリキュラム
- 4 ・ 学生支援について
- 5 ・ 入試について

プログラム概要

専攻科と本学の教育資源を有効活用し、社会で活躍できる分野横断型の実践的技術者の育成を目的とする2年間の教育プログラム

- 高専教員と本学教員が協働で学生を指導する。
- 履修者は、本学と高専専攻科の双方に在籍する。
- 1年目は専攻科で、2年目は大学で履修する。
- 実務訓練は1年目に、卒業研究は2年通して実施する。
- 専攻科の修了証と本学の学士の学位記をともに授与できる。

連携高専、カリキュラムポリシー

連携高専

- 長野，岐阜，沼津，鈴鹿，奈良，富山（2022年度から加入）

カリキュラムポリシー

- テーラーメイド・チュートリアル・システム
 - 履修ガイダンスを受け、個別学習計画を作成
 - メンター教員による個別指導
- 現代社会を捉えるための徹底した基礎教育
 - 先端融合テクノロジーセミナーの設置
 - 学術素養科目（生命科学・環境科学・技術者倫理・国語表現法）の設置
 - 人文・社会科学科目の設置
- 幅広い技術分野に精通し、高い技術実装力を体得する実践的教育
 - 2年間を通した卒業研究、実務訓練の設置

カリキュラム

区分		単位数	履修基準
一般基礎科目	人文学科・社会科学科目	6	(1) 人文科学科目の中から2単位以上 (2) 社会科学科目の中から2単位以上
	外国語科目	4	(1) 英語を2単位以上
	学術素養科目	5	(1) 技術者倫理（必修） (2) 生命科学, 環境科学（必修） (3) 国語表現法（必修）
小計		15	
専門科目	専門Ⅱ	50	(1) 卒業要件にかかる単位修得方法等の詳細は、各課程の基準による (2) 原則として、承認された履修計画表に基づき、履修しなければならない
合計		65	

- 開講科目の詳細は、別表及び対応表（高専ごとに異なる）を参照する
- 高専で修得した単位を単位認定可能
- 履修生のキャリアパスに応じた個別学習計画を立案
- 大学開講科目は、所属課程以外の科目も選択可能

学生支援について

入学検定料

- 専攻科の入学検定料のみ
- 大学側の入学検定料は免除

入学金・授業料

- 大学の入学料（半額免除）
- 大学の授業料（1年目は半額免除）
- 高専に入学料・授業料を納める必要はない

学生宿舎

- プログラム履修2年目は、学生宿舎を優先確保

連携教育実施経費

- 高専と大学間の年6往復分の交通費相当額を支援

入試について

詳細は必ず当該年度の募集要項を参照してください。

https://www.tut.ac.jp/exam/docs/yoko_b3_ren.pdf

出願資格

- 連携高専専攻科で行う推薦入試又は学力入試に合格し、
入学確約書を所定の期日までに提出した者

出願手続き

- 出願書類提出前に、本学指導予定教員と連絡を取り、
入学後の研究計画について十分に相談すること

スケジュール（参考）

- ～願書提出前 指導予定教員と事前相談
- 願書受付期間・合格発表 当該年度の募集要項を参照

入試について

詳細は必ず当該年度の募集要項を参照してください。

https://www.tut.ac.jp/exam/entrance/docs/yoko_m1_sen.pdf

専攻科推薦入試（大学院）の出願資格

- 連携教育プログラム生についても、高専専攻科修了生推薦入試への出願が可能
- 出願資格
入学を希望する前年度の3月までに、高等専門学校専攻科を修了見込みの者（大学と高専との連携教育プログラム生を含む。）のうち、学士の学位を授与される見込みの者で、在学中の成績が優秀で、高等専門学校長から推薦された者